

7. 性的マイノリティの人権

(1) 現状と課題

からだの性がこころの性に一致しないなど性自認に悩む少数派の人々は、違和感に悩みながら、周囲の無理解などから、生きづらさや孤立感を深めるなど社会生活の様々な場面で人権問題が発生しています。

同性愛者など性的指向に関する少数派の人々は、根強い偏見や無理解により、周囲の心ない好奇の目にさらされたり、不適切な取り扱いを受けたり社会生活の様々な場面で人権問題が発生しています。

国においては、「性同一性障害者の性別の取扱いの特例に関する法律」が施行され、一定の条件を満たせば戸籍上の性別変更が可能となりました。また、自治体においても、条例や要綱による独自の「パートナーシップ証明」の発行や、相談窓口の設置など当事者への支援策や、市民の理解を深めるための正しい知識の普及・啓発の動きも広がってきています。

三田市においては、正しい知識の普及・啓発や当事者の人たちへの支援を行うため、10月を「性的マイノリティ支援強調月間」に設定し、研修会、広報、街頭啓発などを通して正しい知識の啓発に努めています。さらに、特設電話相談を設置するなど当事者やその周囲の人たちに寄り添う支援を進めています。

社会の無理解により、性的マイノリティの人たち（SOGI）は、社会生活の様々な場面で、葛藤を抱えながら、周囲との違和感や孤立感を深めていますので、市民の理解を促進するため、家庭や学校、職場や地域社会等において地道で着実な取り組みが必要です。

(2) 今後の方向性

「誰もが自分らしく暮らせる社会」の実現には、市民一人一人が性別にとらわれずその人自身を尊重し認め合うことが大切です。そのために、正しい知識を身につけ、性的指向や性自認を理由とする偏見や差別をなくし、ありのままの自分を認め、認めあえる社会を実現する取り組みを進めていきます。

- 性的マイノリティに関する研修会などの学習や啓発活動を通じて、家庭や学校、職場や地域社会などにおける理解の浸透を図るため、性の多様性を尊重するまちづくりに向けた取り組みを進めていきます。
- 性的マイノリティの人たち（SOGI）の不安や悩みを解消するため、当事者に寄り添った相談体制の充実やコミュニティづくりなどの取り組みを進めていきます。
- 多目的トイレの表示や公文書等の性別表記の見直しなど性的マイノリティの人たち（SOGI）に寄り添った環境整備の取り組みを進めていきます。

個別計画等

- ・第5次男女共同参画計画 平成30年（2018年）

注釈 SOGI

SOGI とは、「性的指向」（Sexual Orientation）と「性自認」（Gender Identity）の頭文字をとった総称です。

「性的指向」とは、人の恋愛・性愛がどのような対象に向かうのかを示す概念を言い、レズビアン、ゲイ、バイセクシャル、アセクシャルなどを指します。

「性自認」とは、自分の性をどのように認識しているのか、どのようなアイデンティティ（自己同一性）を自分の感覚として持っているかを示す概念で、トランスジェンダー、クエスチョニングなどを指します。